

エコアクション21

環境活動レポート

(平成21年1月1日 ~ 平成21年8月15日)



作成日：2009年9月24日



高木建設株式会社

目 次

1, 環境方針	3
2, 組織の概要	4
3, 基準年の環境負荷と環境目標	6
4, 環境活動計画の内容と達成状況	9
5, 環境活動の取組結果の評価	12
6, 社会及び地域への取組み	12
7, 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	12

1, 環境方針

○ 環境に対する基本理念

当社社是であります「信頼・貢献・挑戦」のもと、

『自然にやさしく、人にやさしく！』

をスローガンとして、自然環境やそこで暮らしている人々に十分な配慮をし、影響する負荷と困苦を最小限に抑えるために努力を継続してまいります。

○ 基本姿勢

社是を推進する基本要件は、「品質・安全・そして環境」と位置づけます。この三つの要件に共通する対応姿勢は、無理・無駄をなくし、整理・整頓に努めることです。これを基本姿勢といたします。

○ 環境方針

前記しました「基本理念」と「基本姿勢」を踏まえて次の四つを環境方針をといたします。

- ① 省エネルギーに努めて、これに付随して発生する有害ガス（CO₂, NO_x, SO₂等）削減のための方策を整えてこれを実行します。
- ② 当社の事業活動によって発生する産業廃棄物及び不用副産物の削減に努めると共に再資源化を図ります。
- ③ 節水に心掛け、排水はそのまま放流することなく、再利用と浄化に努めます。
- ④ 環境関係法令の遵守と実行をし、取組状況を公表いたします。

これらの内容は、全ての従業員に周知させます。また、環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。

平成20年9月25日

高木建設株式会社

代表取締役社長 高木正雄

2. 組織の概要

1) 事業所及び代表者名

高木建設株式会社
代表取締役社長 高木 正雄

2) 所在地

本社	長野県長野市安茂里小市1丁目3番31号
機材センター	長野県長野市安茂里小市1丁目1番9号
高府営業所	上水内郡小川村大字高府8451
中条営業所	上水内郡中条村大字中条字堀切46
エースホーム長野店	長野県長野市安茂里小市1丁目3番19号

3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	専務取締役 高木 春光
担当者	環境事務局 高木 亜矢子
連絡先	TEL : 026 (226) 6061 FAX : 026 (228) 5459 HP : http://www.alps.or.jp/takagi/ E-mail : gm-takagi@citrus.ocn.ne.jp

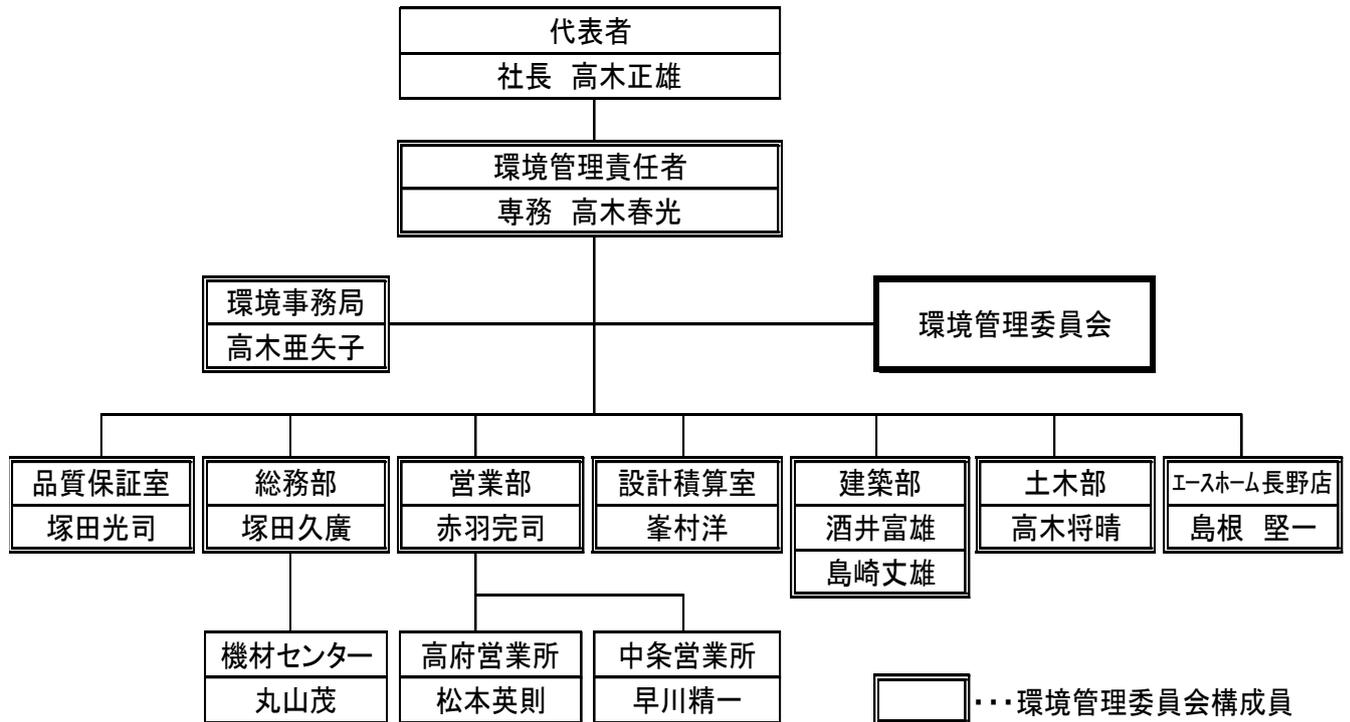
4) 事業内容

建設業	許可番号 長野県知事 許可(特-16)第3951号 建設業の種類 土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業 屋根工事業、電気工事業、管工事業、鋼構造物工事業 舗装工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業 造園工事業、建具工事業、水道施設工事業
宅地建物取引業許可	長野県知事(9)第2037号
一級建築士事務所	長野県知事登録(長野)M第43122号
産業廃棄物収集運搬業許可	長野県 2008069865 長野市 9501069865

5) 事業の規模

売上高	27億3,798万円 (57期:2007年8月16日~2008年8月15日)
従業員数	72名
本社建物	鉄骨造平屋建て 延床面積 632.06 m ²

6) 環境経営システム組織図



7) 環境経営システムにおける役割・責任・権限表

組織	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営システム運用のための人的資源・設備・技能・技術者並びに資金の確保 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境目標・環境活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理 責任者 (専務)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・運用・管理の責任者 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境目標・環境活動計画書の確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認

組 織	役 割・責 任・権 限
環境管理 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者＋部門長＋環境事務局が構成員 ・環境経営システム運用上の決議機関 ・環境目標・環境活動計画の策定
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境管理委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開
部 門 長 センター長 営業所長 店 長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施担当者 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の部員に対する教育訓練の実施、記録の作成 ・自部門・作業所に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門における緊急事態へのテスト、訓練を実施、記録の作成
全 社 員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針・環境目標の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的・主体的な環境活動への参加

3. 基準年の環境負荷と環境目標

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

*目標値は、2007年度対比－3%（2008年）－3%（2009年）－4%（2010年）とし、3年間で－10%の削減を目指す。

*当社における取りまとめの期（期間）については、8月16日～翌年8月15日まで。
（産業廃棄物については年度管理とする。）

*運用開始は2009年1月から。

1) 二酸化炭素の排出量削減

- 1) - ① 電力の削減
- 1) - ② 自動車燃料（ガソリン）の削減
- 1) - ③ 自動車燃料（軽油）の削減
- 1) - ④ 灯油の削減

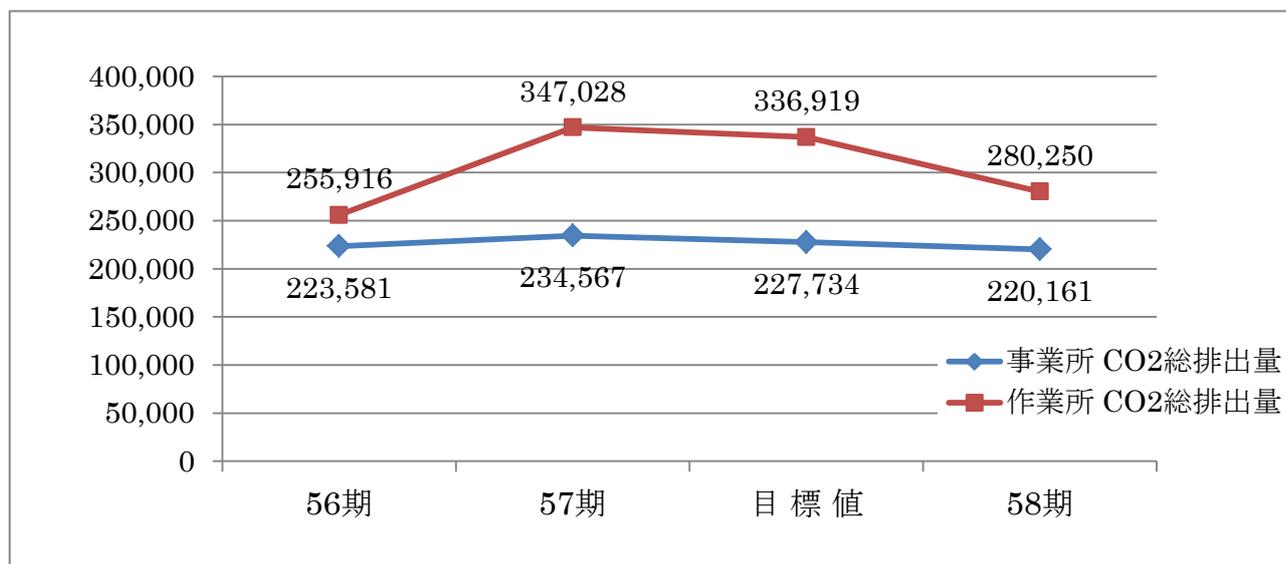
< 本社・事業所 >

環境目標	2006年実績 (56期)	2007年実績 (57期)	目標値	2008年実績 (58期)
CO2 総排出量 削減 (kg-CO2)	223,581	234,567	227,734	220,161 (-6.2%)
電力 CO2 排出量	37,513	38,647	37,521	35,113
ガソリン CO2 排出量	154,153	160,347	155,676	158,954
軽油 CO2 排出量	14,586	17,113	16,615	14,156
灯油 CO2 排出量	17,329	18,460	17,922	11,938

< 作業所 >

環境目標	2006年実績 (56期)	2007年実績 (57期)	目標値	2008年実績 (58期)
CO2 総排出量 削減 (kg-CO2)	255,916	347,028	336,919	280,250 (-19.3%)
電力 CO2 排出量	33,137	48,526	47,112	52,541
ガソリン CO2 排出量	12,816	11,766	11,423	15,336
軽油 CO2 排出量	157,363	164,783	159,983	161,221
灯油 CO2 排出量	52,600	121,953	118,401	51,152

< CO2 総排出量の推移 >



*各項目においては、目標に対して未達成の場合もあるが、全体を通した CO2 排出量は削減されている。

2) 廃棄物の削減

2) - ① 一般廃棄物（紙）の削減

2) - ①-1 紙資源のリサイクル

<全ての部門>

環境目標	2006年実績 (56期)	2007年実績 (57期)	目標値	2008年実績 (58期)
白上質紙・雑誌 カゴ等 (t)	1.21 (概算値)	1.27 (概算値)	1.30 (+3%)	1.66 (+30.7%)

*紙資源のリサイクル量、2007年比-3%ではなく+3%が目標である。

2) - ① 一般廃棄物（紙）の削減

2) - ①-2 可燃ごみの排出量削減

<本社・事業所>

環境目標	2006年実績 (56期)	2007年実績 (57期)	目標値 (運用7ヵ月目標)	2008年実績 (58期) 運用7ヵ月実績
可燃ごみ排出量 削減 (kg)	634 (概算値)	634 (概算値)	615 (358.4) (-3%)	157.5 (-56.1%)

*2-①-1で紙資源のリサイクル率をUPさせ、可燃ごみ排出量を削減する。

2) - ② 産業廃棄物の削減（最終処分・単純焼却率の低減）

<作業所 産業廃棄物排出量 (t) >

環境目標	2006年実績	2007年実績	目標値	2008年実績
廃棄物総排出量(t)	12,439.49	7,579.31		39,764.27

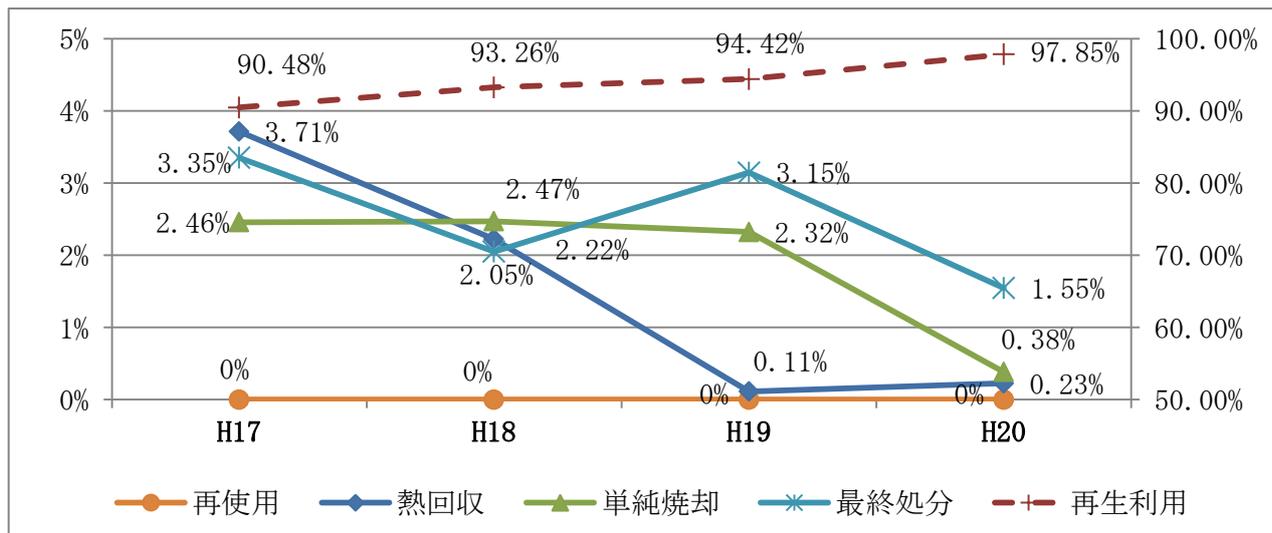
<循環資源・熱回収 量(t)・率(%)>

年度		循環資源量		廃棄物量		廃棄物	合計
		再使用	再生利用	熱回収	単純焼却	最終処分	
平成18年	量	0	11600.46	276.60	307.37	255.06	12439.49
	%	0%	93.26%	2.22%	2.47%	2.05%	100%
平成19年	量	0	7156.32	8.59	176.00	238.40	7579.31
	%	0%	94.42%	0.11%	2.32%	3.15%	100%
平成20年	量	0	38907.81	89.79	152.10	614.57	39764.27
	%	0%	97.85%	0.23%	0.38%	1.55%	100%

*産業廃棄物の排出量の削減を目指すものではなく、最終処分・単純焼却量を-3%削減し、循環資源・熱回収へ転換させることを目標としている。

*産業廃棄物の取りまとめについては、4月～翌年3月末日までとする。

<年度における排出量率(%)>



3) 水道使用量の削減

<本社・事業所>

環境目標	2006年実績 (56期)	2007年実績 (57期)	目標値	2008年実績 (58期)
水道使用量(L)	544	619	600.9	479 (-22.6%)

<作業所>

環境目標	2006年実績 (56期)	2007年実績 (57期)	目標値	2008年実績 (58期)
水道使用量(L)	312	654	634.9	411 (-37.2%)

4. 環境活動計画の内容と達成状況

1, 二酸化炭素排出量の削減

1-① 電力の削減

<環境活動計画の概要>		
<ul style="list-style-type: none"> 不要照明の消灯 待機電力の防止 昼食時・外出時のPC電源OFF 冷房28℃、暖房20℃設定 クールビス・ウォームビス運動 電気ポットの使用は原則禁止 	(事業所)達成区分: ○ 07 実績: 69635 kw 目標: 67606 kw 08 実績: 63268 kw 達成状況: -9.2%	評価: 不要照明・自動販売機の撤去・待機電力の見直し等、各自が積極的に取り組みを行った結果、目標は達成された。平成21年9月より太陽光発電パネルを設置したので今後の電気量の推移を調査する。
	(作業所)達成区分: × 07 実績: 87433 kw 目標: 84886 kw 08 実績: 95823 kw 達成状況: +9.5%	評価: 取組みは行われたが、工事量が増えたため購入電力も増加してしまった。次期からは工事量を考慮して集計を行う。

1-② 自動車燃料（ガソリン）の削減		
<環境活動計画の概要> ・全社有車・工事車両の燃費向上の啓発 ・アイドリングストップ ・急加速・急停車の防止 ・冷暖房の控え目使用 ・効率の良い営業・打合せ・現場管理等 ・相乗り運動 ・全社有車の運転記録の管理 ・休祝日の社有車の使用禁止	(本社)達成区分：× 07 実績：69065.46 L 目 標：67053.84 L 08 実績：68466.05 L 達成状況：-0.9%	評価：前年よりは削減されているが、目標は達成されなかった。次期は1年間の運用を管理し、エコドライブの教育・訓練を取り入れて燃費の向上を図り、使用量削減につなげる。
	(作業所)達成区分：× 07 実績：4845.83 L 目 標：4704.68 L 08 実績：6574.10 L 達成状況：+35.6%	評価：取組みは行われたが、工事量が増えたためガソリンの使用量も増加してしまった。次期からは工事量を考慮して集計を行う。
1-③ 自動車燃料（軽油）の削減		
<環境活動計画の概要> ・全社有車・工事車両の燃費向上の啓発 ・アイドリングストップ ・急加速・急停車の防止 ・冷暖房の控え目使用 ・効率の良い営業・打合せ・現場管理等 ・相乗り運動 ・全社有車の運転記録の管理 ・休祝日の社有車の使用禁止	(本社)達成区分：○ 07 実績：6521.53 L 目 標：6331.58 L 08 実績：5394.16 L 達成状況：-17.3%	評価：各自が意識を持って取り組んだ結果、目標は達成された。ガソリン車同様にエコドライブの教育・訓練を取り入れ燃費の向上を図る。
	(作業所)達成区分：× 07 実績：59622.97 L 目 標：57886.37 L 08 実績：59966.22 L 達成状況：+0.5%	評価：取組みは行われたが、工事量が増えたため軽油の使用量も増加してしまった。次期からは工事量を考慮して集計を行う。
1-④ 灯油の削減		
<環境活動計画の概要> ・暖房の設定温度20℃ ・必要以外の暖房機器のスイッチOFF ・ウォームビス運動	(事業所)達成区分：○ 07 実績：7400.3 L 目 標：7184.7 L 08 実績：4792.6 L 達成状況：-35.3%	評価：薪ストーブの導入、設定温度の配慮、ウォームビスの取組、また暖冬等で目標は大幅に達成された。また、薪については作業所で発生した木材を利用しているので、経費削減にもつながっている。
	(作業所)達成区分：○ 07 実績：21108.47 L 目 標：20493.66 L 08 実績：20401.35 L 達成状況：-3.4%	評価：工事量は増えたが灯油は現場事務所内で使用するため、各自の意識、温暖化等で目標は達成された。

達成区分：○目標達成，×目標未達成

2, 廃棄物の削減				
2-① 一般廃棄物（紙）の削減		2-①-1 紙資源のリサイクル		
<ul style="list-style-type: none"> 裏面使用 ミスコピー・ミス印刷の防止 分別方法の指導・徹底 作業所等本社への持ち込みの指導・徹底 	(全社)達成区分：○	目 標：1.30 t	08 実績：1.66 t	達成状況：+30.7% (リサイクル率 up)
評価：資源利用の指導により各自が今まで以上に意識を持って取り組んだ結果、紙資源のリサイクル量が増加し、目標が達成された。				
2-① 一般廃棄物（紙）の削減		2-①-2 可燃ごみの排出量削減		
<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみの種類・分別・リサイクルの指導・徹底 メモ用紙等の雑紙もリサイクルへ 	(全社)達成区分：○	目 標：358.4 kg	08 実績：157.5 kg	達成状況：-56.1% (可燃ごみ排出量 down)
評価：各自のゴミ箱は各自が責任を持って処理をする、ゴミ分別場所の設置等の意識付けの結果、紙資源のリサイクル量がUPしたため可燃ごみの排出量が減り、目標が達成された。				
2-② 産業廃棄物の削減				
<ul style="list-style-type: none"> 分別の徹底 単純焼却・最終処分量の削減 循環資源・熱回収への転換 	評価：産業廃棄物総排出量より各項目の%を算出した結果、単純焼却・最終処分量はマイナス、再生利用・熱回収はプラスとなり目標が達成された。			
(項目)	(07 実績)	(目標)	(08 実績)	(達成状況)
単純焼却率(down)	2.32%	2.25%	0.38%	-83.7%○
最終処分量(down)	3.15%	3.05%	1.55%	-50.8%○
再生利用率(up)	94.42%	97.25%	97.85%	+ 3.6%○
熱回収率 (up)	0.11%	0.113%	0.23%	+109.0%○
3, 水道使用量の削減				
3, 水道使用量の削減				
<ul style="list-style-type: none"> 節水の呼び掛け 台所で使用する水の節水 トイレの節水 水の出しっぱなし防止 	(事業所)達成区分：○	07 実績：619.0 L	目 標：600.9 L	08 実績：479.0 L 達成状況：-22.6%
評価：節水の意識付けにより各自が積極的に取り組み、目標が達成された。また、社員の中にはマイボトルを持参し、節水に取り組んでいる姿もあった。次期は雨水の利用に取り組み更に水道使用量を削減する。				
	(作業所)達成区分：○	07 実績：654.0 L	目 標：634.9 L	08 実績：411.0 L 達成状況：-37.2%
評価：節水の意識付けにより作業所においても積極的に取り組み、工事用に雨水を利用するなどに取り組んだ結果、目標が達成された。				

達成区分：○目標達成，×目標未達成

5. 環境活動の取組結果の評価

エコアクション21環境経営システムを運用して8ヶ月、社員の省エネルギー・節約の意識が徐々に高まり、全体的に環境目標の達成が見られる。達成ができなかった社有車・工事用車両の燃料の削減（1-②, 1-③）については、今後自己診断による燃費計測を実施し、啓発向上につなげて燃費の向上を図る。作業所の工事用車両についても協力会社への指導を徹底していく。また、電力使用量の増加が見られたエースホーム長野店では、平成21年9月よりモデルハウス屋根に太陽光パネルの設置を行った。太陽光発電量及び電気購入量を調査し、使用量削減につなげ、顧客へのアピール及び設置促進にも取り組む。

また、達成された目標に対しても更なる向上を図るため、作業所巡視時における指導に力を入れたり、エコロジー社員・協力会社表彰を設けることで、更なる環境への配慮、省エネルギーの積極的な取り組みにつなげていく。

6. 社会及び地域への取組み

- ・環境整備活動（ボランティア活動） 1回/月
- ・裏山整備活動 2～3回/年
- ・献血 2回/年
- ・作業所における環境整備活動 1回以上/施工中



7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1) 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例を事業所、作業所ともに遵守しており、違反はありません。また、関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありません。

NO.	法律名	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	騒音規制法	◆特定建設作業実施の届出	遵法
2	振動規制法	◆特定建設作業実施の届出	遵法
3	水質汚濁防止法	◆貯油施設の事故時の応急措置と届出	遵法

NO.	法律名	遵守すべき要求事項	遵守状況
4	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	◆産業廃棄物収集運搬業者、処分業者との契約（許可の確認、委託契約書の保存）	遵 法
		◆産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付（マニフェストの保存）	遵 法
		◆産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵 法
		◆（多量排出事業者） ・産業廃棄物処理計画書及び産業廃棄物処理計画実施状況報告書の提出	遵 法
		◆（産業廃棄物収集運搬業者） ・産業廃棄物収集運搬業の許可	遵 法
		・産業廃棄物排出業者との契約（委託契約書の保存・マニフェストの保存） ・産業廃棄物の運搬実績報告書の提出	遵 法
5	消防法	◆少量危険物の貯蔵又は取扱いの届出	遵 法
6	高圧ガス保安法	◆危険時通報届	遵 法
		◆事故届	遵 法
7	フロン回収・破壊法	◆業務用冷凍空調機器の廃棄・整備時のフロン類の回収	遵 法
8	資源の有効な利用の促進に関する法律	◆再生資源利用計画書の作成、実施状況の記録、保存	遵 法
		◆再生資源利用促進計画の作成、実施状況の記録、保存	遵 法
9	建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	◆対象建設工事の届出事項の説明及び届出事項の告知	遵 法
		◆再資源化の報告	遵 法

2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去3年間、1件も発生しておりません。